

省エネ型ドライエアーユニットを開発 JAXA種子島宇宙センターで実証試験実施！

株式会社巴川製紙所(本社:東京都中央区、代表取締役社長:井上善雄)は、グリーンチップ®ブランドとして環境関連を中心としたSDGsに対応する製品開発を進めております。



この度、省エネルギーで極めて精密にドライ環境を維持できるドライエアーユニットを開発、2020年2月26日～28日に宇宙航空研究開発機構(以下「JAXA」)種子島宇宙センターにて実証試験を実施、高い性能を確認することができました。

人工衛星等に水分が付着すると精密機器等に悪影響を及ぼす可能性があることから、種子島宇宙センターで衛星を建屋から別の建屋に移動させる際には、結露しないよう、事前に人工衛星の周囲環境をドライな状態にすることが必要です。そのため、移動時には、衛星を保護カバー内に収納し、窒素を注入して時間をかけて除湿します。

当社開発のドライエアーユニットを使用することで、除湿時間の短縮(従来10時間必要な時間が2～3時間程度に短縮可能)となり、再利用時のリジェネレーション(脱水分工程)も低温で可能なため効率が高く、種子島宇宙センターにおける衛星の整備組立工程の短縮、省エネルギー化に寄与することを目指しています。

また、リチウムイオン電池や医療品、食品などでドライ環境が必要な保管倉庫や輸送トラックなど多方面へのご提案を開始いたします。

低温でリジェネできるため省エネ

- ・リジェネ(脱水:再生)温度が低温(80℃～)であるために、使用電力量が小さく省エネ

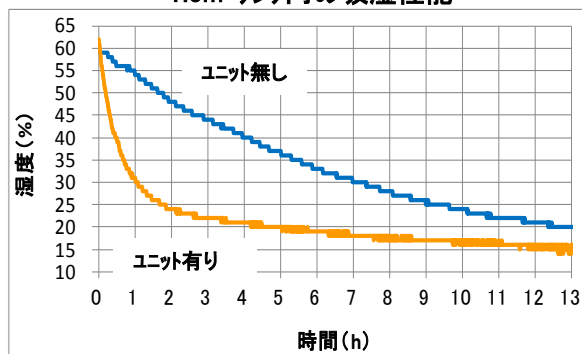
除湿時間短縮、工程短縮

- ・ファン内蔵構造のために、短時間での除湿が可能

ポータブル

- ・内蔵バッテリー駆動のために、持ち運びが容易で、設置場所に制限なし
- ・装置寸法はカスタマイズ可能

1.5m³ タンク内の吸湿性能



ドライエアーユニット



JAXA種子島実証テスト:ユニット設置時



衛星輸送用保護カバー 密閉時



当社はこれからもお客様の成功と発展を支える最良のパートナーとして、時代のニーズに応えた製品づくり、新しい価値を創出し続けることに努めてまいります。

【お問い合わせ先】

株式会社巴川製紙所 iCasカンパニー企画室

〒104-8335 東京都中央区京橋2-1-3 京橋トラストタワー7階

TEL:03-3516-3405 E-mail : eisui_info@tomoegawa.co.jp